

## H29.11.6 朝日小学校学区説明会概要(質疑応答)

日 時 平成 29 年 11 月 6 日 (月) 午後 7 時から午後 8 時 10 分

場 所 下田市立朝日小学校体育館

出席者 保護者・教職員：13 人

市教委：佐々木教育長、山梨参事、吉田係長、土屋(大)指導主事、土屋(真)技師、原主事

### 質疑応答

#### <保護者(男性)>

通学補助について、新中学校開校の平成 34 年度から補助する想定なのですか。次に統合準備委員会について、1 月以降設置するというのですが、PTA については、残り任期が 3 か月程度、今年度中の協議することの目標みたいなものがあれば、お伺いしたいです。重要な箇所については、次年度から検討をしていただきたいという気持ちもあります。最後に組織の中で部会がありますが、こちらは部会ごとに開催する予定となっているのですか。

#### <係 長>

通学補助については、平成 34 年度から補助をさせていただきたいと考えております。また通学に関する細かな内容につきましては、今後設置される統合準備委員会の中で決定していきたいと考えております。2 つ目の統合準備委員会については、1 月以降に設置させていただき、3 月までに状況にもよりますが 1 回から 3 回程度、可能であれば開催させていただきたいと考えております。会長様につきましては、任期が残り少ない中で申し訳ないのですが、協議した内容につきまして次期会長への引継ぎという形で対応をしていただければと考えております。最後に部会の関係ですが、こちらは部会ごとに開催させていただくことを想定しております。

#### <保護者(女性)>

金原地区に住んでいますが、この場所ですとおそらく自転車補助という形になると思います。この補助の中には自転車の保険なども含まれていての補助額になるのでしょうか。また、消費税の増税も予測される中で、電動アシスト付自転車も購入するのにかなりの負担になってきますがそういった点について、今後考慮されるのでしょうか。

#### <係 長>

ただ今説明させていただいた補助につきましては、あくまでも自転車購入費に係る補助となりますので、保険等の部分は考慮しておりません。消費税増税等の対応なども含め、統合準備委員会の中で協議、検討をしてみたいと考えております。その中で、多くのご意見をあげいただき、それらを協議させていただき、最終的な決定をしてみたいと考えております。

#### <保護者(女性)>

現在、4 年生の子どもを持つ親ですが、仮設校舎については、どこに建てる予定でしょうか。

#### <係 長>

仮設校舎の建設位置については、まだ未定ですが、現在の下田中学校のグラウンドの中におそらく建てることになると思われます。いずれにしても来年 1 月以降、基本計画の策定に入りますが、それらの中で決定すると考えております。また、皆様に対しましては、逐一、情報を流させていただきたいと思っております。

### <保護者(女性)>

現在、中学生男子を持つ親で自転車通学をさせています。4kmという距離は正直キツイと感じています。下の子は女の子ですので、下田駅を經由してバス通学をさせたいと考えています。朝日小学校区は学区としては変わらないので、あまりバス増便など今より良くなるのが、学区が変わる地区と比較すると期待できないと思っています。朝練も間に合わないダイヤなので、親が送迎をしている人が多いと感じています。通学に関する選択肢を増やして欲しいと思います。家用車の送迎も安心だと思しますので、ぜひ検討をしていただきたいです。

### <係長>

貴重なご意見として受けさせていただきます。先ほどと回答が同じになりますが、そのようなご意見をいただきながら、通学に関する対応策を今後、統合準備委員会を通じて決定して参りたいと思います。バス増便につきましてはバス事業さんとの協議となりますが、既存路線の拡充についても今後お願いをしていきたいと考えております。

### <保護者(男性)>

事前に生徒間交流などをどのような形で考えているのか、わかればお伺いしたい。

### <教育長>

朝日小では、大賀茂小と田牛地区へ宿泊体験を実施し、交流を深めております。当然、中学校の時期に交流を行うことも考えておりますが、小学校の時期からも他校との交流事業を積極的に行うことにより、新中学校になった際に全く知らないという状況とならないような対策を考えていきたいと考えております。

### <保護者(女性)>

保護者は再編されることにより、いじめなど不安を持つと思います。特に現場の声をお伺いしたいですが、他市町村の視察などもされていると思いますが、教職員の業務量が増えることや統合することによる子どものメリット・デメリットについてもお伺いしたいです。

### <教育長>

例えば大きい学校だからいじめがあって、小さい学校だから全くいじめがないということではないと思います。やはり中学校という時期においてはある程度多くの子どもたちがいる中で、過ごししていくということが大切なのではないかと感じております。既に聞いたことがあるかもしれませんが、スクールカウンセラーとかスクールソーシャルワーカーといった専門的な方たちが小中学校11校を回っておりますが、なかなか一つのことに對して対応できない部分なども出てきている可能性もあります。中学校4校を一つにすることにより、その専門的な方を常駐することが可能となり、より細かな対応をとることが可能になると考えております。先生方につきましても、学年集団という形で、各学年ごとにチームを組んで対応をしていくような体制を取ることにより、先ほど説明しました、1・2年生5クラス、3年生4クラスという形になった場合、担任と副担任というような形で配置することができるようになると思います。一人の担任が全て対応するという形でなく、副担任を付けることにより、より細かな対応ができるようになると考えております。また支援員についても現在と同じような形で配置する方向で考えております。

### <参事>

学校現場の立場から発言をさせていただきたいと思いますが、正直、4中学校が再編になった時のことについては、なってみないと分からないという部分もあります。ただ、学校規模から考えますと、今回の学校再編を行うことにより、国が示す規模で適正規模になります。学習という側面か

ら考えますとどの教科でも専科教諭を配置することが可能となります。部活動についても運動部だけでなく、文化部の拡充も考えることができ、そういった運動が苦手な生徒に対する対応も可能になると思います。小規模校の一番大きな問題という部分は、やはり人間関係が全く変わらないという部分だと思います。多感な中学生くらいになった時に、学級編成を変えることができないがために、非常に微妙な人間関係のまま中学3か年を過ごしたという現場も見たこともあります。そういった中で最終的には行き詰まり、学校を転校してしまったというケースも過去にはありました。そのような部分については、今回の中学校再編を行うことにより、生徒が多くなることによって、柔軟な人間関係を作ることができるようになるという側面もあると考えております。先ほども申しましたが、再編することによって、大規模校になるのではなく、国が示す標準規模校になり、子どもたちにとっては非常に良い環境になるものと考えております。